栃木民主新報
日本共産党栃木県委員会
発行人　小林年治
栃木県宇都宮市東浦町21-12　〒321-0167
電　話028(658)4302
FAX028(658)4374
発行日　毎月第3日曜日
1カ月100円

2010年代に8000人の栃木県党を実力でも自共対決の時代をひらこう

第72回県党会議

小林県委員長（壇上正面）の報告を聞く参加者

日本共産党栃木県党組織は9日、第72回党会議を開催しました。前日の大雪で路面凍結が懸念される悪条件でしたが、代議員や要員の奮闘で党会議は成功しました。

県委員会報告にたった小林年治県委員長は、日本共産党第26回大会決定の中心点を栃木県の現状を交えて報告。「実力でも自共対決」の時代を開くために、次期国政比例選挙で得票率10%以上、2010年代に8千人の県党建設をめざす目標や、来春のいっせい地方選挙での県議席奪還と10市5町での勝利、3・4月の中間選挙での全候補の勝利をめざす方針を盛りこんだ「総合計画」を提案しました。

討論では20人の代議員が発言、党大会代議員や中間選挙候補者、支部や大衆運動グループの代議員、機関役員らが発言し、全員の賛成で「総合計画」を採択しました。

新三役（再）
小林年治県委員長
小池一徳書記長
野村節子副委員長

県党会議は「総合計画」実践の先頭に立つ新県委員を選出。第1回県委員会総会を開催し、小林年治県委員長ら三役（いずれも再）と常任委員会を選出しました。

紙智子参院議員があいさつ

激励に駆けつけた紙参院議員

県党会議であいさつした紙智子参院議員は第26回党大会の真髄や国会議員団の奮闘を報告。11の常任委員会すべてに委員を配置し、自公の横暴な議会運営に歯止めをかける重要な役割を果たしていると強調しました。そして国会開会初日から秘密保護法廃止の「人間の鎖」が国会を包囲するなど国民の安倍政権への怒りが高まっており、国民と連携して暴走ストップに全力をあげると述べました。さらにTPP交渉の現状について、アメリカ国内でも矛盾が広がり、早期妥結などという状況にないことを報告、「断念させるまでがんばりましょう」とよびかけました。

党県後援会 新春のつどい

あいさつする塩川衆院議員

日本共産党栃木県委員会と同県後援会は1月25日、塩川鉄也衆院議員を迎え、宇都宮市で「新春のつどい」を開き、中間選挙勝利と県議空白克服（宇都宮市区・来年4月）を必ず果たすとともに、その基盤となる党勢拡大に奮闘する決意を固め合いました。

塩川議員は、昨年の参院選での党議席増を力に、ブラック企業規制法案を提出したことを報告。「人間らしく働ける社会の実現に頑張りたい」と述べました。

日本共産党新春のつどい
中間選挙勝利へ決意表明する全9候補。
会場は大きな拍手と「頑張れー」の掛け声に包まれた。

日光市議選 福田えつ子（現）、福田みちお（新）2候補擁立を発表

福田えつ子
1950年生まれ63歳
旧日光市議2期、
日光市議2期

福田みちお
1959年生まれ55歳
前県常任委員・
中部地区委員長

4月22日任期満了にともない4月6日告示、13日投票で実施される日光市議選（定数28・2減）で、日本共産党は、現職の福田悦子氏（63）と新人の福田道夫氏（55）を擁立し、前回失った複数議席の奪還に全力をあげます。

日本共産党は、党の2議席実現で、くらし、福祉優先の市政の実現を訴えています。

3・4月の中間選挙 全候補者の当選を

3月9日投票で、空白克服をめざす大田原市議補選を皮切りに、3月、4月の中間地方選挙で日本共産党は、4市3町に9人の党公認の候補者を擁立します。

安倍自民党政権の暴走のもと、地方議会でも唯一の野党として、住民の願いが生かされる議会の実現へ、議席占有率、議案提案権、空白克服の三つの目標での前進をめざします。また、得票とともに議席を着実に増やし、躍進の確かな流れをつくりだすために全力をつくします。

選挙戦は、日光市と栃木市で、現職と新人が立候補し、複数議席の奪還をめざします。那須烏山市、高根沢町、那珂川町、壬生町では、現有議席維持へ、現職が再選をめざします。

3・4月の地方議員選挙と候補者

自治体名	告示日	投票日	候補者名	定数
大田原市	3月2日	3月9日	秋山幸子	補欠選挙
壬生町	3月18日	3月23日	小貫　暁	16
日光市	4月6日	4月13日	福田悦子	28
			福田道夫	
高根沢町	4月8日	4月13日	森　弘子	17
那須烏山市	4月13日	4月20日	平塚英教	18
栃木市（栃木区）	4月13日	4月20日	白石幹男	30
			石嶋力夫	
那珂川町	4月15日	4月20日	益子輝夫	15

“いのちの年金を削るな” 行政不服審査請求640人

市内をデモ行進する参加者

全日本年金者組合県本部（檜山正執行委員長）は6日までに、宇都宮西年金事務所を通じ、640人分の行政不服審査請求書を国に提出しました。1月31日に第1次分として601人分を提出し、さらに募っていました。

県本部は、1次分の提出に先立ち同日、市内で集会を開き、同事務所までの約2㌔をデモ行進。「年金の引き下げ反対」などと訴え、市民にアピールしました。

檜山委員長は「年金を減らされたことに対し、抗議の声を広げよう」と集会参加者を激励しました。

宇都宮西年金事務所では、県本部の野口要事務局長が「世代間の対立をあおりながらの、社会保障の改悪は許せない」などとする声明文を読み上げ、各支部の代表が、増尾猛所長に不服審査請求書を手渡しました。

各地で新春のつどい

日本共産党第26回大会（1月15～18日）をうけ、県内の党後援会は1、2月にかけ、各地で新春のつどいを開きました。

4月の市議選で1議席から複数議席をめざす日光市、栃木市をはじめ、宇都宮市、小山市、足利市などで開催。小林年治県委員長は小山市、のつどいであいさつ。「『自・共対決』の時代にふさわしい強靭な党づくりに奮闘しよう」と訴えました。

参加者から「やりがいのある年だ」と声があがるなど、各地のつどいは、新たな決意に燃えていました。

第4回安保破棄県実行委総会 小泉氏が講演

講演する小泉氏

安保破棄栃木県実行委員会は2日、宇都宮市で第4回総会を開きました。第1部は今後の活動方針を決定し、第2部で、安保破棄中央実行委員会の小泉親司事務局次長が「安倍政権の国家安全保障戦略を問う」と題して講演しました。

総会では、秘密保護法の撤廃や、陸上自衛隊宇都宮駐屯地・北宇都宮駐屯地の基地強化に反対する活動方針などを決めました。

小泉氏は、陸上自衛隊によるオスプレイの配備をめぐり、第12ヘリコプター隊がある北宇都宮駐屯地への配備の可能性を指摘。安倍内閣の暴走政治と真正面からたたかう重要性を強調しました。

県労連が春闘学習会と「旗びらき」開催

栃木県労働組合総連合（阿波長次議長）は1月25日、宇都宮市内で春闘学習会と「旗びらき」を行いました。

武藤和志事務局長は、ブラック企業規制を求めて県に要請したこと、県議会にも国への意見書提出の陳情を行ったが全会一致で不採択にされたことなどを報告、運動をさらに強めようと述べました。

日本共産党から塩川鉄也衆院議員、野村せつ子前県議らが出席し、参加者と歓談しました。

国労宇都宮支部「団結旗びらき」

国鉄労働組合東京地本宇都宮支部（齋藤資行執行委員長）は1月25日、「団結旗びらき」を開催。職場の民主化と健全な労使関係構築をめざして決意を固めあいました。日本共産党から野村せつ子前県議らが出席しました。

全労働旗開き

全労働省労働組合栃木支部は1月24日、宇都宮市内で旗開きを行ないました。

日本共産党の小池一徳県書記長が出席し、「安倍政権の労働法制改悪に反対し、民主的労働行政の実現へ力を合わせましょう」とあいさつしました。

とちぎ地域自治研「地方議員研修会」を開催

とちぎ地域自治研究所（北嶋滋代表）は1月26日、宇都宮市で第11期自治講座「地方議員研修会」を開催。大和田一紘氏が「予算・決算審議」について講義しました。参加した日本共産党や無所属などの地方議員らは熱心に受講していました。

市町国保 11.731世帯に資格証交付 栃木県が5年連続ワースト1

厚労省が発表した2013年6月1日現在「都道府県別滞納世帯等の速報値」によると、栃木県の滞納世帯数に占める資格証明書交付世帯の割合は3・6%（11、731世帯）で5年連続全国ワースト1位でした。滞納世帯数は18・8%（62、078世帯）ワースト11位で、容赦なく資格証発行が行われていることを示す数値です。一番滞納世帯割合が低い長野県は9・6%で、資格証交付は0・1%（390世帯）でした。

県内市町の資格証発行割合ワースト1は真岡市の5・4%でした。

市町別国民健康保険滞納世帯数等の状況（2013年6月1日現在）

市町名	国保加入世帯数	滞納世帯数			資格証明書			短期被保険者証		
			割合		交付世帯数	割合		交付世帯数	割合	
	A	B	B／A		C	C／A		D	D／A	
	世帯	世帯	%	順位	世帯	%	順位	世帯	%	順位
宇都宮市	79,161	18,424	23.27	4	2,419	3.06	12	3,955	5.00	15
足利市	26,962	4,847	17.98	10	1,186	4.40	5	1,459	5.41	14
栃木市	23,768	1,927	8.11	24	1,012	4.26	6	915	3.85	22
佐野市	20,521	4,511	21.98	5	835	4.07	7	877	4.27	19
鹿沼市	15,877	1,917	12.07	21	722	4.55	3	1,038	6.54	6
日光市	15,509	2,359	15.21	16	556	3.59	11	1,207	7.78	3
小山市	34,986	8,986	25.68	2	1,548	4.42	4	1,942	5.55	12
真岡市	12,836	1,793	13.97	18	698	5.44	1	735	5.73	10
大田原市	11,874	2,989	25.17	3	442	3.72	10	513	4.32	18
矢板市	5,553	819	14.75	17	214	3.85	9	447	8.05	2
那須塩原市	19,906	3,308	16.62	14	1,053	5.29	2	1,362	6.84	5
上三川町	4,126	530	12.85	19	167	4.05	8	114	2.76	23
益子町	4,371	881	20.16	7	52	1.19	19	217	4.96	16
茂木町	2,487	172	6.92	25	24	0.97	20	105	4.22	20
市貝町	1,809	327	18.08	9	35	1.93	17	164	9.07	1
芳賀町	2,645	318	12.02	22	2	0.08	25	188	7.11	4
壬生町	6,503	1,678	25.80	1	149	2.29	16	362	5.57	11
下野市	7,966	1,713	21.50	6	201	2.52	14	312	3.92	21
野木町	4,139	728	17.59	12	117	2.83	13	92	2.22	25
岩舟町	2,938	350	11.91	23	23	0.78	22	163	5.55	13
塩谷町	2,054	364	17.72	11	17	0.83	21	99	4.82	17
さくら市	6,305	792	12.56	20	15	0.24	24	373	5.92	9
高根沢町	3,962	606	15.30	15	22	0.56	23	254	6.41	8
那須烏山市	5,099	194	3.80	26	82	1.61	18	112	2.20	26
那珂川町	3,169	573	18.08	8	0	0.00	26	87	2.75	24
那須町	5,602	972	17.35	13	140	2.50	15	362	6.46	7
県計	330,128	62,078	18.80		11,731	3.55		17,454	5.29	

※栃木県国保医療課資料を基に作成、順位は県内26市町の中でのワースト順位です。